

2024 年度(令和 6 年度) 事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 植物工場研究会

特定非営利活動に係る事業

理事会/総会
■理事会 2024 年 5 月 29 日 10:00-11:10 (日本時間) 理事総数 23 (議決:理事総数の過半数) 出席数 理事 21 名、監事 1 名 (内訳 Zoom による出席 16 名、書面表決書出席 2 名、委任状出席 3 名) 第 1 号議案 2023 年度 事業報告書(案)(総会付議事項) 第 2 号議案 2023 年度 決算報告書(案)(総会付議事項) 第 3 号議案 2024 年度 事業計画書(案)(総会付議事項) 第 4 号議案 2024 年度 活動計算書(案)(総会付議事項) 第 5 号議案 理事の選任(案) 第 6 号議案 監事の選任(案)(総会付議事項) 第 7 号議案 定款の改定(案)(総会付議事項) 第 8 号議案 特別会員個人の入会について(案) 第 9 号議案 2024 年度通常総会議題(案) 以上、全議案について原案の通り承認された。 ■第 2 回理事会(書面・電磁的方法による) 理事会の決議があったものとみなされた日 2024 年 5 月 29 日 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容 理事長および副理事長の互選 以上について決議があったものとみなされた。 ■総会 【通常総会】2024 年 6 月 20 日 13:30~14:30 (日本時間) 社員総数 185 (定足数:正会員等総数の 2 分の 1 以上) 出席数 102 名 (Zoom による出席 23 名、電磁的方法等による書面表決書出席 33 名、電磁的方法等による委任状出席 46 名) 第 1 号議案 2023 年度 事業報告書(案) 第 2 号議案 2023 年度 決算報告書(案) 第 3 号議案 2024 年度 事業計画書(案) 第 4 号議案 2024 年度 活動計算書(案) 第 5 号議案 監事の選任(案) 第 6 号議案 定款の改定(案) 以上、全議案について原案の通り承認された。
柏の葉市民との共創
柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)などと協調し、かしわ環境フェスタ in 柏の葉の一環として 2024 年 11 月 25 日に植物工場見学会を開催し、さらに 2024 年 12 月 11 日には、柏の葉の中高生向け教育旅行のモニターツアーにて学生を受入れた。UDCK 関連イベントである 2025 年 2 月 6 日開催「学びと食のカプロジェクト」、2025 年 3 月 22 日開催「農あるピクニック」では、コンソーシアムメンバーの協力も得て食材となる植物工場産のレタス類を提供した。また、2023 年度より連携が開始されたラグビー校ジャパンの教育プログラムの一環として、アートクラスの生徒向けの植物工場に関する授業および見学等に協力し、生徒が制作した英語と日本語の植物工場の絵本が完成した。
柏の葉ライフサイエンス協議会
柏の葉にて発足された柏の葉ライフサイエンス協議会に引き続き参画した。協議会の活動を具体的な活動・成果に繋げることを目指した「産業拠点化に関するワーキング」(2024 年 4 月 23 日および 6 月 28 日開催)に参加し今後の連携可能性などに関する議論を行った。また、2025 年 1 月 23 日に柏の葉カンファレンスセンターにて開催された柏の葉ライフサイエンス協議会第 4 回総会では植物工場関連の取り組みを紹介し、国際シンポジウムに向けた連携などについて協議した。さらに、月例で開催されている会議にも参加し地域に関する理解と共創に向けた議論を深めてきた。
研究開発事業
■脱炭素化に向けた園芸施設の空調システムの開発、実用化 脱炭素化に向けたヒートポンプの活用方法ならびに太陽熱利用法などに関する開発支援および検討などを行った。

■植物フェノタイピングを活用した次世代型植物工場に関する研究・開発

植物フェノタイピングを活用した次世代型植物工場に関する研究・開発を継続的に実施・発表した。また、研究開発プロジェクトにおける連携を実施した。

千葉大学と NPO 植物工場研究会で共同出願した植物工場におけるフェノタイピングシステムに関して、米国特許 (Cohort Phenotyping System for Plant Factory with Artificial Lighting, Patent No.: US 11,895,939B2、PUB No.US 20220142038A1、Date of Patent: Feb. 13, 2024、出願番号: 17/430,717 (国際出願番号: PCT/JP2020/005589)、登録番号: 11895939) に続き、同内容の国内特許「人工光型植物工場コホートフェノタイピングシステム」(登録番号: 第 7520299 号、出願番号: 特願 2021-501915 (国際出願番号 PCT/JP2020/005589)) を 2024 年 7 月 12 日に取得。

■研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE) にて国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構「食料安全保障に資する完全閉鎖型植物工場の実現に向けた調査研究」を受託、実施 (2023 年 11 月～2025 年 3 月)

食料安全保障に資する完全閉鎖型植物工場に関する実現可能性調査において、食料安全保障に資する完全閉鎖型植物工場の実現に向けた社会実装シナリオを策定した。

■委員会

1) 植物照明 LED 調査研究委員会

2015 年 10 月 5 日発足。人工光型植物工場における LED 照明に関する基本的事項を調査研究対象とする。委員は、LED 関連メーカー企業、LED 植物工場企業、大学、研究所、および委員会が必要とした者で構成される。委員は、NPO 植物工場研究会関係者などには限定しない。(委員構成別紙)

国際標準化 (IEC) の国内対応機関である日本照明工業会からの委託を受け、園芸照明標準化における技術的助言をしている。

IEC ではすでに 2024 年 2 月に園芸用 LED ランプに関する 2 件の国際規格を公開している。

IEC 63403-1&2

Horticultural lighting – LED packages for horticultural lighting

– Part 1: Specification sheet

– Part 2: Binning

IEC では現在、園芸用 LED ランプの性能、安全性に関する標準化の検討を進めており、2025 年度中に 3 件の国際規格を公開予定である。

注) IEC は電気及び電子技術分野の国際標準化を担当し、ISO はそれ以外の全産業分野の国際標準化を担当している。

2) 次世代植物工場調査研究委員会

2020 年 8 月 20 日発足。SDGs (Sustainable Development Goals)、ESG (Environmental, Social, Governance) への貢献を目標とした次世代の人工光型植物工場 (Plant Factory with Artificial Lighting, PFAL) に関する調査研究を実施。主に分科会における栽培実験・分析・検討を行った。(委員構成別紙)

3) エネルギー自律型園芸施設調査検討委員会の企画・検討

商業電力の供給停止時においても自然エネルギー (日射、風力、水力、地熱等) による発電量だけで園芸施設がほぼ正常に稼働するシステムの諸元を提供する方法を提案することを目的に調査研究活動を行う準備・検討を開始した。

■発表等

<論文・学術誌など>

1) K. Shimatani, Y. Nakayama, K. Takaguchi, R. Iwayama, K. Yoda-Tsumura, H. Nakaoka, C. Mori, N. Suzuki. Relationship between living rooms with void spaces or partially high ceilings and psychological well-being: A cross-sectional study in Japan, Building and Environment, 258, 111596, doi: 10.1016/j.buildenv.2024.111596, 2024

2) 林絵理「植物工場の今と未来—持続可能な植物工場の社会的・文化的な普及に向けて—」日本農学アカデミー会報 第 42 号、2024

3) 林絵理「人工知能と今後の農業技術「現在および未来の植物工場～植物工場と共にある持続可能な社会に向けて～」アグリバイオ Vol.9(1), 19-23, 2025

4) 古在豊樹「ICT 導入による農業の持続可能な生産性の向上のためのスマート化への期待」電子情報通信学会誌、108(2)、145-149、2025

<掲載記事 (取材記事)>

1) Key features of a proper cultivation system module in a vertical farm, vertical farm daily (日刊業界誌/ウェブ) 2024 年 5 月 21 日掲載 <https://www.verticalfarmdaily.com/article/9611161/key-features-of-a-proper-cultivation-system-module-in-a-vertical-farm/>

2) 【植物工場ビジネスの最新動向と課題】現状は赤字が約半数。エネルギー削減の取り組み進む、アグリジャーナル (フリーマガジン電子版) 2024 年 7 月 5 日掲載 <https://agrijournal.jp/renewableenergy/76632/>

＜国内外の学術会議、シンポジウムなどでの招待講演/講義など＞

- 1) “AI for Decarbonisation: Zero Carbon Farms of the Future”, Eri Hayashi, online, April 10, 2024
- 2) “Latest Development of Plant Factories for Sustainable Societies”, Eri Hayashi, 2024 International Forum on Bio-optics and Smart Agriculture, China (online), June 10, 2024
- 3) “Plant Factories for Sustainable Societies”, Eri Hayashi, JAPAN AND THE NETHERLANDS: PARTNERS IN INNOVATION FOR FUTUREPROOF HORTICULTURE, GreenTech, the Netherlands, June 11, 2024
- 4) 「植物工場の普及拡大に向けての研究開発課題」古在豊樹、(一社)日本植物工場産業協会特別講演 2024 年 6 月 26 日
- 5) 「最近の植物工場の野菜および技術の動向」林絵理、日本生物環境工学会西日本支部 2024 年度総会・シンポジウム「ここまで来たか！植物工場の機能活用」2024 年 7 月 4 日
- 6) 「日本における自律型植物工場の現状と将来性」林絵理、持続可能で収益性の高い温室事業自律栽培～実践と経験、日蘭園芸セミナー、オランダ王国大使館主催 2024 年 7 月 25 日
- 7) パネルディスカッション「農業デジタルツインのニーズと研究開発」林絵理、日本学術会議食料化学委員会・農学委員会合同 CIGR 分科会など主催 市民向け公開国際シンポジウム「農業デジタルツインの現状と展望」2024 年 9 月 19 日
- 8) 「世界的に見た植物工場の発展」林絵理、スマートグリーンハウス人材育成研修「世界から見た植物工場」、大阪公立大学 植物工場研究センター(PFC) 2024 年 10 月 16 日
- 9) 「人工光型植物工場の次世代環境制御—施設園芸での活用を見据えて—」古在豊樹、「世界における植物工場企業および研究機関の最新技術・事業動向」林 絵理、植物工場研究会 第 162 回特別勉強会「普及拡大に向け「今」求められる次世代環境制御—世界的な技術動向と研究開発課題—」2024 年 10 月 29 日
- 10) 「食料・環境・資源・健康に関する地球規模の4すくみ問題への植物工場の貢献」古在豊樹、手賀沼大学講座 2024 年 11 月 9 日
- 11) “Latest Advancement and Future of Plant Factory Innovations towards Sustainable Well-being Societies”, Eri Hayashi, Global Agri-Food Scientific Symposium, Singapore, November 21, 2024
- 12) 「地球規模の4すくみ問題への植物工場の貢献」古在豊樹、中国国際人材交流協会日本駐在事務所植物工場見学会 2024 年 12 月 5 日
- 13) “Current State and Challenges of Plant Factories in Japan”, Eri Hayashi, CHIBADAI International Workshop on Space Agriculture and Horticulture, March 10, 2025
- 14) 「ゼロエミッション植物工場～植物工場の社会的・文化的な普及に向けて～」林絵理、日本学術会議 公開シンポジウム「気候変動下の食料生産の確保に向けた研究最前線」2025 年 3 月 16 日

＜その他＞

企業との共同研究において、国内特許「遺伝子改変植物の作製方法」(出願人/特許権者: 日本電信電話株式会社、国立大学法人千葉大学、特定非営利活動法人植物工場研究会、特開 2024-171032)を出願中。

支援事業(会員支援/千葉大学柏の葉キャンパス植物工場拠点支援)

■連携/支援事業

【コンサルティング/受託研究】技術・事業開発のためのコンサルティングおよび受託研究を実施

【連携】

- ・千葉大学との連携
- ・一般社団法人日本植物工場産業協会との連携
- ・日本型施設園芸産業革新化ネットワークとの連携
- ・Vertical Farm Daily との連携
- ・オランダ RAI Amsterdam と連携
- ・シンガポール REPUBLIC POLYTECHNIC との連携
- ・米国オハイオ州立大学 Ohio Controlled Environment Agricultural Center (OHCEAC)との連携
 - － JPFA x OptimIA コラボレーションフォーラムを植物工場研究会にて開催 2024 年 5 月 16 日
- ・ラグビー校ジャパンとの連携
- ・駐日オランダ王国大使館等との連携
 - － オランダ園芸貿易&イノベーションミッションの受入 2025 年 2 月 21 日

■学会・展示会への参加/会員特典

- ・RAI Amsterdam 主催の国際施設園芸・植物工場展示会 GreenTech(オランダ) 2024 年 6 月 11 日～13 日に出席
- ・生態工学会 2024 年 6 月 29 日～30 日に協賛団体として参加、会員割引を実施
- ・一般社団法人日本施設園芸協会主催の施設園芸・植物工場展 2024 年 7 月 24 日～26 日 (Greenhouse Horticulture & Plant Factory Exhibition: GPEC)に協賛団体として出席

- ・Asia-Pacific Agri-Food Innovation Summit 2024(シンガポール)2024 年 11 月 19 日～21 日にマーケティングパートナーとして協力・参加、会員割引実施
 - ・AGENTIAL AI AgBio 2025 International Conference and Exhibition(バンコク)2025 年 5 月 6 日(火)～8 日(木)にマーケティングパートナーとして参加、会員割引を実施
- 拠点事業として施設管理・保守および運営管理の支援
- ・環境整備
 - ・共有施設の維持管理
 - ・共有施設の運用調整
 - ・コンソーシアム企業の対応全般
 - ・月次コンソーシアム連絡会議の開催
 - ・棟別の月次の消費電力の把握及び報告
 - ・新規共同研究の依頼に対する調整・交渉など
 - ・(相談から入居・運営までの専門的支援)
 - ・共同研究プロジェクトマネジメント、サポート
 - ・施設・設備の更新等に伴う諸業務
 - ・培養液分析(毎週)＊主にコンソーシアム企業、大学教員、学生のために準備・分析・結果の提供など
 - ・学生・研究者支援など
 - ・日々の緊急対応
 - ・その他

支援事業(千葉大学柏の葉キャンパス植物工場拠点見学受入れ)

■講義・見学案内
 見学のみコース・講義付見学コースを日本語・英語にて実施。見学者の約半数が海外からの訪問者。
 2024 年度海外からの見学・講義付き見学受入合計 930 人

【2024 年度見学者数】 JPFA: NPO 植物工場研究会、単位(人)

見学実施月	JPFA 窓口			コンソーシアム 受入れ	合計
	見学のみ	講義付	小計		
4 月	67	24	91	19	110
5 月	150	9	159	0	159
6 月	179	53	232	11	243
7 月	203	55	258	25	283
8 月	81	19	100	0	100
9 月	142	67	209	0	209
10 月	116	42	158	0	158
11 月	221	67	288	0	288
12 月	161	113	274	0	274
1 月	178	85	263	8	271
2 月	68	36	104	0	104
3 月	149	13	162	0	162
計	1,715	583	2,298	63	2,361
月平均	143	49	192	5	197

【事業年度別見学者数推移】

事業年度	JPFA 窓口	コンソーシアム 受入れ	合計			
2011 年 6 月～3 月	4,172	855	5,027			
2012 年度	5,878	555	6,433			
2013 年度	4,787	629	5,416			
2014 年度	4,898	350	5,248			
2015 年度	3,918	180	4,098			
2016 年度	4,167	766	4,933	うち海外見学者数		
2017 年度	4,527	535	5,062	見学のみ	講義付き	小計

2018 年度	4,466	134	4,600	1,368	413	1,781
2019 年度	4,283	190	4,473	1,546	322	1,868
2020 年度	528	66	594	3	83	86
2021 年度	636	97	733	0	53	53
2022 年度	1,423	108	1,531	234	105	339
2023 年度	2,575	137	2,712	954	31	985
2024 年度	2,298	63	2,361	879	51	930
計	48,556	4,665	53,221	4,984	1,058	6,042

支援事業(人材開発)

■勉強会

NPO 植物工場研究会主催でオンラインおよび柏の葉会場にて計 5 回の勉強会を実施した。単位(人)

開催回	勉強会テーマ	視聴期間	JPFA 会員	一般	学生/ 招待者他	計
第 160 回	「レジリエントな植物工場運営・発展に向けて～災害からの復旧・復興事例から学ぶ」 (4/24 ライブ)	4/2 - 5/9	73	5	12	90
第 161 回	「AI・デジタルツインと自動化技術～施設園芸・植物工場の進展～」 (6/20 ライブ)	6/25 - 7/8	79	11	8	98
第 162 回 特別勉強会	「普及拡大に向け「今」求められる次世代環境制御～世界的な技術動向と研究開発課題～」(10/29 対面+オンライン)	10/31 - 11/11	54	14	6	74
第 163 回	「宇宙農業の研究・開発動向と将来」 (1/14 ライブ)	1/14 - 1/27	102	20	33	155
第 164 回	「海外市場での植物工場・施設園芸の展開」 (3/25 ライブ)	3/27 - 4/7	92	13	7	112
	計		400	63	66	529

【企画セミナー】

・特別企画「医療用カンナビス(大麻)植物工場ビジネスセミナー」を 2024 年 5 月 24 日に対面にて開催。31 名が参加(企画協力:キセキグループ株式会社)

・企画セミナー「まだ間に合う 施設園芸での強日射・高温対策セミナー+ 千葉大学柏の葉キャンパス植物工場施設見学付」を対面およびオンラインにて 2024 年 7 月 9 日に開催。38 名が参加(企画協力:株式会社 Delphy Japan)

■国内研修

千葉大学・NPO 植物工場研究会・日本施設園芸協会共催、および NPO 植物工場研究会主催で実施した。

No	研修名	形態	主・共催	日程	人数
1	ここから始める植物工場の基礎	対面	JPFA	6/12	25
2	作物生産に役立つ環境物理学	対面	JPFA	7/18	13
3	補光の最新技術と実際の導入事例	対面/ Zoom ライブ	農水	8/7※事後アーカイブ配信	26
4	培養液管理の基礎と実践	対面	農水	9/3-9/5	5
5	施設園芸における新技術開発と新規参入	対面	JPFA	9/20	9
6	水耕葉菜類を栽培して培養液管理と一連の作業を学ぶ	対面	農水	10/3-10/4 10/31-11/1	6
7	今すぐ利益を出せる人工光型植物工場の注目ポイント	対面	JPFA	10/23	24
8	農業現場におけるロボット活用の現状と展望	対面/ アーカイブ配信	農水	11/6※事後アーカイブ配信	15
10	「大型植物工場！ 実現へのチャレンジと運営の実際」 ー大型施設を複数創業し、サステナブルな運営を行うカリスマ経営者！そのノウハウを聞くー	対面	JPFA	12/11	27
11	果樹作物別【イチジク、ブドウ】養液・根域制限栽培研修	対面	JPFA	12/19	18

12	誤った植物工場技術【人工光型植物工場編】	対面	JPFA	1/15	21
13	施設栽培に必要な植物生理の基礎	対面	JPFA	1/29	22
14	日射比例式灌水システム作成実習	対面	JPFA	2/14	8
R1	ここから始める人工光型植物工場の基礎	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	3
R2	これだけは身につけておきたい培養液管理法【基礎編】	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	6
R3	培養液管理のスマート化に必要な技術 培養液管理法【上級編・実用編】	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	3
R4	栽培作物別研修【トマト】	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	5
R5	対策は病原菌と害虫の基礎と実体を知るところから始まる－病害虫の基礎知識と検出法、対策法－	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	3
R6	栽培作物別研修【果樹】	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	2
R7	栽培作物別研修【葉菜類】	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	2
R8	人工光型植物工場【イチゴ】	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	9
R9	栽培作物別研修【イチゴ】(太陽光型)	リクエスト Web	JPFA	6月～3月	5
21	【依頼型】個別培養液フォローアップ研修/培養液分析		JPFA	個別対応	8
22	【依頼型】出前型対面研修	対面	JPFA	個別対応	17
計					282

JPFA: NPO 植物工場研究会

農水: 千葉大学・NPO 植物工場研究会・日本施設園芸協会共催

注記) 開催方式を、対面型、対面型/Zoom ライブ配信型ハイブリッド、リクエスト開催 Web・オンデマンド配信型、依頼により企画、とする 4 種類を実行した。Zoom ライブ配信型のアーカイブ配信、また、リクエスト開催 Web・オンデマンド配信は、15 日間の視聴期間とした。

企画・国際事業

■国際研修

植物工場に関する国際研修(言語: 英語): オンラインでの研修に加え、ビジネスに特化した対面型の人工光型植物工場に関する国際研修、日本の多様なイチゴ品種なども扱うイチゴにおける対面型の国際研修を実施した。世界各地より 13 名が参加。

- ・2024 年 10 月 7 日～9 日“JJPFA Interactive Onsite Training Course on Plant Factories with Artificial Lighting (PFALs)”実施
- ・2025 年 3 月 4 日～5 日“JPFA Strawberry Training Course”実施
- ・オンライン国際研修 Introductory Online Training Courses on Plant Factories with Artificial Lighting (PFALs)を常時継続

■一般社団法人日本施設園芸協会「令和 6 年度スマートグリーンハウス展開推進の業務(施設園芸・植物工場の全国実態調査・優良事例調査)」を受託、実施

施設園芸・植物工場の全国実態調査・優良事例調査を実施。全国の施設園芸および植物工場事業者に対しアンケート調査を実施するとともに優良事例調査先への視察調査を実施し、調査結果の分析ならびに報告書を作成。

■海外研修生の受け入れ

ボローニャ大学(イタリア)の修士課程学生 1 名を受入れ(4 か月間)。

■海外向け広報

ソーシャルメディアによる英語情報発信(イベント案内・報告など)、ウェブサイトおよびメール配信による国際シンポジウム、英語の国際研修、勉強会、ニュース&イベント、書籍や記事などに関する案内・情報発信など。

■国際連携

- ・海外プロジェクトへの参画・支援、国内外の市場および技術動向調査、海外展開促進・国際連携に向けた活動の実施
- ・オランダのメディア Vertical Farm Daily (VFD) と情報共有の強化、相互の顧客基盤の拡大を目的とし連携継続
- ・国内外対応(ビジネスマッチング、コンサルティング要請、国内・海外市場調査、研修プログラム要請、その他)に伴う会議および企画対応
- ・海外会員誘致による新規入会促進
- ・国内外における標準化案策定への協力・連携
- ・海外の政府・教育機関および関連組織との連携活動に向けた準備
- ・国際研究プロジェクトにおける連携に向けた準備

- ・デジタルコンテンツ・サービスの充実化
- ・国内向け海外情報の発信：電子媒体による配信、各種講演会での講演など
- ・海外企業と国内会員企業のマッチングおよび連携促進
- ・NPO 植物工場研究会企画・国際部ニュースの配信
- ・研究および普及活動に関する国際連携の企画・検討・実施
- ・海外拠点スタッフの配置・活動

広報事業

■マスコミ対応

取材日	掲載日 放映日	媒体	媒体名	内容
2024/4/11	2024/7/5 2025/1/21	オンラインジャーナル	アグリジャーナル	【植物工場ビジネスの最新動向と課題】 【植物工場ビジネスの概要を徹底解説】 インタビュー対応：古在豊樹、林絵理
2024/3/14	2024/2/26	Web/SNS	柏の葉スマートシティ ホームページ	ラグビースクールジャパン生徒が作成した 絵本についてスマートシティの共創事例として紹介。 インタビュー対応：林絵理
2024/10/29 2025/1/14		新聞	農経しんぼう	第 162 回特別勉強会 第 163 回勉強会
2025/1/14	2025/1/21		農機新聞	第 163 回勉強会

その他、国内外メディア掲載多数

■プレスリリース配信

- ・April Dream 企画「すべての人に植物工場を」植物工場と共に持続可能な未来を目指す」(PR Times, 2024/4/1)
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000123796.html>

■JPFA News 配信 2024 年度計 2 回配信

- ・【JPFA News】会員割引のご案内 AGENTIAL AI AgBio 2025 (2024 年 7 月 8 日)
- ・【JPFA News】 一社)日本薬用機能性植物推進機構第 6 回セミナーのご案内 (2025 年 2 月 5 日)

■JPFA Weekly 2024 年度計 41 回配信

- ・JPFA Weekly | April 12, 第 160 回勉強会、April Dream Project ほか / Greetings for the FY 2024 and more
- ・JPFA Weekly | April 19, ラグビー一校生徒による植物工場の発表会ほか / RSJ Students Present on PFALs and more
- ・JPFA Weekly | April 26, 2024 年度総会、第 161 回勉強会のご案内ほか / JPFA General Meeting of Members and more
- ・JPFA Weekly | May 10, 研修年間予定のご案内ほか / Save the Date! Sep. 2
- ・JPFA Weekly | May 17, OptimIA とのフォーラム開催ほか / JPFA Held a Collaboration Forum with OptimIA and more
- ・JPFA Weekly | May 24, 6/20 総会 & 161 回勉強会のご案内ほか / JPFA Training on PFALs: Visit the Facilities and Discover Other Japanese Crops and more
- ・JPFA Weekly | May 31, 医療用カンナビスセミナー開催ほか / JPFA Held Medical Cannabis PFAL Business Seminar and more
- ・JPFA Weekly | June 7, 強日射・高温対策セミナーのご案内、Oishii 大規模工場稼働ほか/Registration open: JPFA Onsite Training Course Sept. 2024 and more
- ・JPFA Weekly | June 21, 2024 年度通常総会開催、第 161 回勉強会開催ほか / JPFA Exhibited at GreenTech Amsterdam and more
- ・JPFA Weekly | June 28, 環境物理学の基礎研修、AGENTIAL AI AGBio 2025 のご案内ほか / JPFA Supports AGENTIAL AI AGBio 2025 and more
- ・JPFA Weekly | July 5, 8/7 補光に関する研修、ラグビー一校生徒による植物工場絵本ほか / JPFA Training's Schedule Changed and more
- ・JPFA Weekly | July 12, 強日射・高温対策セミナー開催ほか / JPFA Training Course Highlights and more
- ・JPFA Weekly | July 19, スマート農業法説明会、Plenty 社 UAE へほか / GPEC Upcoming Next Week and more
- ・JPFA Weekly | August 2, 培養液管理研修ほか / New Lecturer for Onsite Training Course on PFALs and more
- ・JPFA Weekly | August 9, GPEC 御礼 ほか / GPEC Photo Report and more
- ・JPFA Weekly | August 23, 施設園芸新技術・新規参入研修 ほか / JPFA Training: Introducing last Participants' Feedback and more
- ・JPFA Weekly | August 30, 特別勉強会 10/29 開催予定ほか / JPFA Photoreport and more
- ・JPFA Weekly | September 6, 水耕葉菜類の栽培研修ほか / JPFA Training's Program Revealed and Pre

・JPFA Weekly | September 13, 人工光型植物工場の利益改善研修ほか / JPFA Training: Announcement Published in VFD and more
 ・JPFA Weekly | September 20, NEDO Oishii Farm 採択ほか / NEDO Adopted Oishii Farm in 17 Startups in The Deep Tech Field and more
 ・JPFA Weekly | October 4, 施設園芸・植物工場調査ご協力のお祝いほか / Exclusive Discount for AGENTIAL AI AgBio 2025 and more
 ・JPFA Weekly | October 11, Oishii Farm 日本進出ほか / Oishii Farm's New R&D Center in Japan and more
 ・JPFA Weekly | October 18, ロボット活用に関する研修ほか / JPFA President Speak at Asia
 ・JPFA Weekly | October 25, 速報: 古在名誉会長 文化功労者に選出ほか / Dr. Kozai Selected as Person of Cultural Merit and more
 ・JPFA Weekly | November 1, 11/3 千葉大学センター祭開催ほか / JPFA President Speak at Global Agri
 ・JPFA Weekly | November 8, 米国 Bowery Farming 社工場停止ほか / Bowery Farming Closes and more
 ・JPFA Weekly | November 15, 11/22 静岡・シンガポールアグリフードフォーラム開催ほか / Singapore
 ・JPFA Weekly | November 29, イチジク・ブドウ研修ほか / JPFA Strawberry Training Course on March 4
 ・JPFA Weekly | December 6, 12/23 子ども向け植物工場ツアーほか / Meet the Advanced Strawberry Cultivation System!
 ・JPFA Weekly | December 13, 2025 年 1 月研修のご案内ほか / Visit Strawberry PFALs and Greenhouses!
 ・JPFA Weekly | December 20, 宇宙農業勉強会 1/14 ほか / "GigaFarm" in NY and more
 ・JPFA Weekly | January 10, 雑誌特集「人工知能と今後の農業技術」のご紹介ほか / Plenty Focuses on Strawberries and more
 ・JPFA Weekly | January 17, 第 163 回勉強会開催、研修 No.12 実施ほか / JPFA 154th Workshop in English and more
 ・JPFA Weekly | January 24, インタビュー記事、葉かきロボット ほか / Interview with the JPFA, Tomato Leaf Cutting Robot and more
 ・JPFA Weekly | February 7, 2024 年度新規団体会員紹介、千葉大宇宙園芸シンポジウム開催予定ほか / FY2024 New JPFA Members, Chiba Univ. Symposium on Space Agri
 ・JPFA Weekly | February 14, 2024 度新会員紹介②、非破壊でイチゴ糖度推定ほか / FY 2024 New JPFA Members②, Determine White Strawberry Sweetness Without Damage and more
 ・JPFA Weekly | February 21, 3/25 第 164 回勉強会、2024 年度新会員紹介③ほか / JPFA 164th Workshop in English, FY 2024 New JPFA Members③ and more
 ・JPFA Weekly | February 28, オランダ使節団が JPFA を訪問、2024 年度新会員紹介④ほか / Mission from Netherlands Visited the JPFA, FY 2024 New JPFA Members④ and more
 ・JPFA Weekly | March 14, JPFA 国際シンポジウム受付開始、2024 年度会員紹介⑤ほか / JPFA International Symposium Registration Open, FY 2024 New JPFA Members⑤ and more
 ・JPFA Weekly | March 21, JPFA イチゴ国際研修を開催、2024 年度会員紹介⑥ほか / The JPFA Held the Strawberry Training Course, FY 2024 New JPFA Members⑥, and more
 ・JPFA Weekly | March 28, コンソーシアム成果共有会、Oishii 自動収穫技術資産を買収ほか/Meeting to Share Joint Research Projects, Oishii Acquires Key IP and Assets, and more